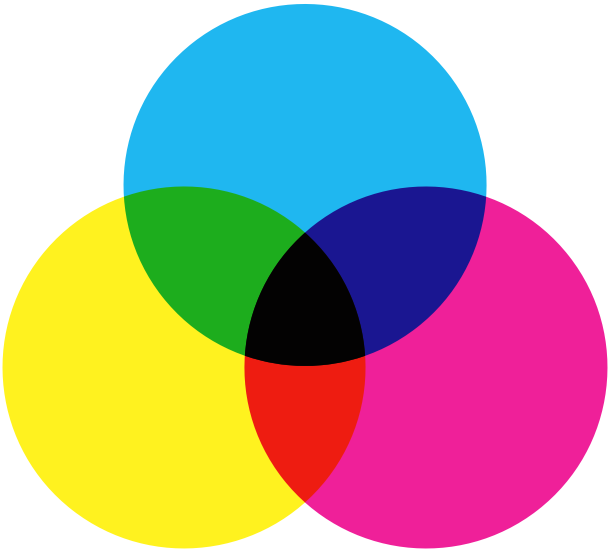


ぎふAR美術館

MASAYUKI AKAMATSU　YUTAKA KITAMURA　AKINORI OISHI
KEI SHIRATORI　TAKESHI MUKAI　YOUNGHYO BAK

2013.11.01 fri - 11.15 fri | SOFTOPIA JAPAN

ぎふ AR 美術館

2013.11.01 fri - 11.15 fri | SOFTOPIA JAPAN

開催時間 11:00 - 19:00 [11.01 fri のみ 16:00 - 19:00] 入場無料

「ぎふ AR 美術館」は岐阜県立情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] の赤松正行教授と卒業生を中心にしたプロジェクトチームによる、新しい考え方の AR として、パネルや立方体に描かれた絵画に携帯端末をかざして鑑賞する展覧会です。東京をはじめ、ドイツやブラジルなど世界各地で開催された展覧会で反響を得た作品が、作家たちが学んだ土地岐阜にはじめて集められ公開されます。近年一般的に知られるようになってきた AR は拡張現実 (Augmented Reality) の略で、現実の光景に電子的な情報を付け加えて表示する技術です。

これ対して、今回の展覧会では独自に開発した「ARART」という AR システムを使い、現実そのものを変化させてしまう試みを行っています。これを新しい AR、変容現実（Alternated Reality）と呼んでいます。携帯端末をとおして見つめることで、絵本のキャラクターが動きだしたり、写真のつぼみが花を咲かせるように、現実が固定された唯一のものでなく、様々に変化する創造性を獲得し、私たちが見ている現実に新たな視点と疑問を投げかけます。大人からお子様まで、幅広く楽しめる内容となっておりますので、是非ご来場いただきお楽しみください。

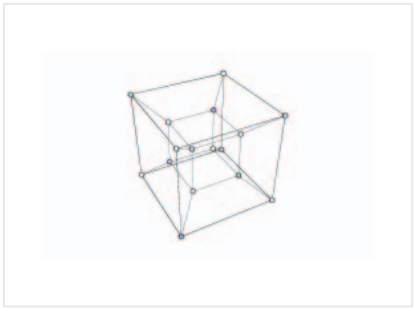
ARART : arart.info

※作品体験用の端末は会場にて貸し出し致します。

出展作品

MASAYUKI AKAMATSU

赤松正行《ウロボロスのトーチ》2012 年



赤松正行《まやかしの立方体》2013 年

YUTAKA KITAMURA

北村穣《モーメンツ・オブ・ブルーム》2013 年

AKINORI OISHI

大石暁規《スマイル・ワールド》2013 年

KEI SHIRATORI　TAKESHI MUKAI
YOUNGHYO BAK

《ARの国のアリス》2013 年

制作協力

ウロボロスのトーチ
デザイン [北村穣]
サウンド [白鳥啓]
プログラミング [和田純平]
アニメーション [アマナイメージズ、明石瀬里奈、神谷典孝、堂園翔矢、中上淳二、二宮諒、宮城良]

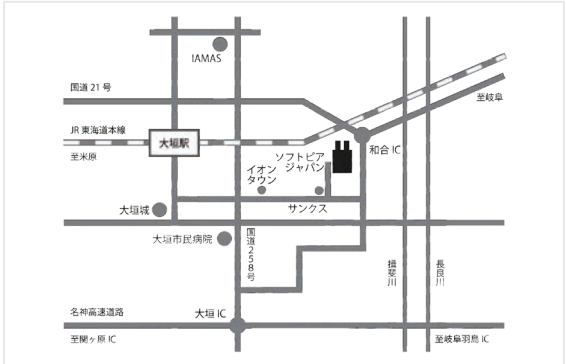
まやかしの立方体
制作 [二宮諒]

ARの国のアリス
アニメーション [鈴木詩織、南條沙歩、金仁恵]
ナレーション [鍋谷美華]
サウンド [宮坂浩太郎]

開催場所

ソフトピアジャパン　センタービル 3 F
〒503-8569 大垣市加賀野 4 丁目 1 番地 7

[アクセス]
電車：JR 東海道本線「大垣駅」下車
バス：「大垣駅」南口 3 番（ソフトピアジャパン方面）乗場より 10 分
ソフトピア線・羽島線（バス停「ソフトピアジャパン」で下車できます）
タクシー：大垣駅南口から 8 分



[お問い合わせ]
ソフトピアジャパンセンター
指定管理者　伊藤忠アーバンコミュニティ・グループ
0584-77-1111
info@ma-tilde.com

Matilde　IAMAS　GIFU